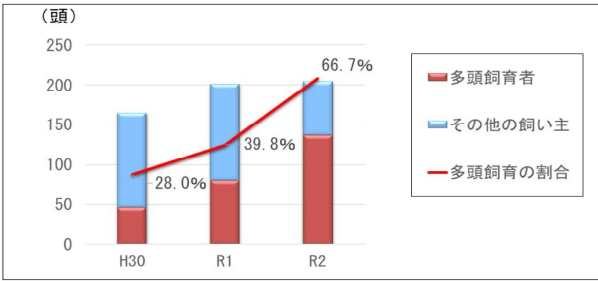


# 滋賀県動物保護管理センターから

滋賀県動物保護管理センターの職員(獣医師)は、当協働会議メンバーであり、今回の養成講座においても、松本さん、宗田さんには、毎回お話をいただき、受講生に正しい知識の伝達をしていただきました。また、3回目の講座では、センターの現地視察を行い、センターのリアルな業務・役割を学び動物愛護のために人社会ができることを考えるきっかけとなりました。

## 多頭飼育問題とは

飼い主からの引き取り頭数に占める多頭飼育者の割合(猫)



○多頭飼育者からの猫の引取りが、飼い主からの猫の引取り頭数の66.7%を占めており、多頭飼育者への対策が課題。

近年「飼っている猫が増えてしまい世話ができない。」「急な入院でペットホテルをあたったが高額で預けられない。」「といった相談が増えています。こういった方は、高齢、社会的孤立、経済的困窮などの問題を抱え、多頭飼育問題を生じることが多くなっています。これは単に動物の問題としてとらえるのではなく、背景にある人の問題とあわせて対応することが必要です。飼い主に関わる関係者がアンテナを高く持ち、啓発による未然防止、早期発見、継続した見守りを行うことが重要です。

2/4

## 2回目 グループワーク

2回目は、地域包括支援センターよりケアマネさんから聞く不適切な飼育のある高齢者宅の実態、課題の報告を受け、その後1回目につづき、グループワークで2つのテーマについて話し合いをおこないました。

- ・安心・安全な環境
- ・たくさんの会話
- ・共に健康に生きる
- ・動物と人間仲良く
- ・動物も人もストレスのない社会
- ・動物も人も支え合えるのが幸せ
- ・動物にとっては十分な食料と水を与えられる
- ・人にとってはペットがなついでくれること
- ・(人も動物も)美味しいごはんをおもいっきり食べられること
- ・動物は言葉が発せられないので気持ちが通じ合えると幸せかな?

①人にとっても・動物にとっても  
"幸せ" づてなんだろ

### 地域の中で【互助】

- ・普段から近隣のコミュニケーションを図る
- ・わんこが死んだ後、余ったペットシートやエサを受付けて欲しい人にあげる
- ・地域では体調の悪い時に散歩を頼める人間関係をつくっておく
- ・ネコ、イヌだけでなく植木の水やりなんかも含めてお互いにボランティア
- ・多頭になりそうな時に飼い主に声をかける支援
- ・車に乗っておられない家もあるので病院等に連れて行ってあげられたらいい
- ・野良猫がきたら手術して地域猫として見守る
- ・高齢者のお宅訪問
- ・まず自分の組から発信する

### 公的な支援【公助】

- ・この協議会がどこにでもある組織になること
- ・プラットフォーム、相談窓口がほしい
- ・(金銭面など)情報を取る方法の周知
- ・「動物いますmap」?みたいなものもあれば
- ・販売業者も不妊手術等適正飼育の話を伝えてほしい
- ・動物の世話に困っている人を助けるネットワークづくり
- ・地域や学校などでの勉強会、相談窓口の情報提供
- ・子育て支援センターのボランティアのようなマッチング
- ・一人暮らしの人が最後までペットを飼える仕組み
- ・災害時のお世話
- ・近所で困っている事を直接言わずに(言にくい)アドバイスしてくれる組織
- ・今まで動物のみ人のみで考えてこられた制度がこれからは切っても切れないことで同時に考えていくシステム
- ・助け合い活動の見える化、共有化→活動自由参加→見える化、共有化
- ・犬の飼い方、しつけ教室 (外国の方にもわかりやすく)

②こんな"助け" あればなあ

## 動物福祉から考える ~いぬ・ねこの飼い方~

**1.空腹と渴きからの自由**

- ・記載されている量・健康状態に合わせて
- ・新鮮で清潔・たっぷりの量

**2.不快からの自由**

- ・掃除、消毒消臭・汚れたペットシーツの交換
- ・体長の1.5倍の長さ・幅かい・厚砂・頭数+1のトイレ数

動物福祉とは「動物の側に立って、科学的視点から飼育環境を整える」考え方

**3.苦痛、損傷、疾病からの自由**

- ・不妊去勢手術により生殖器系の病気を予防

**4.正常行動発現の自由**

- ・不妊去勢手術により発情ストレスをなくす・望まれる命を増やさない

**5.恐怖および苦悩からの自由**

- ・たたかない・怒鳴られない

## 飼い主が守ること

**狂犬病予防法**

- 【犬の登録】生後91日以上の犬は登録すること【登録変更の届出】・犬の死亡・登録した住所からの転居・飼い主の変更
- 【犬の鑑札】登録時に交付される鑑札を犬に着けること
- 【狂犬病予防注射】登録した犬に毎年1回狂犬病予防注射を接種すること
- 【注射済票の装着】予防注射接種時に交付される注射済票を犬に着けること

**逸走の防止、放し飼いの禁止**

- ・逃げ出したり迷子にしない・首輪、リードなどの器具を点検・交換
- ・犬は放し飼いをしない・猫は極力、室内飼育をする(外飼いで近隣に迷惑をかける可能性がある)

2/7

## 現地視察

3回目の講座では、18名の受講者の皆さんと、湖南市岩根にある滋賀県動物保護管理センターに視察研修に行きました。この日、職員さんによる動物の福祉についてのお話は勿論、センター敷地内の見学もさせて頂きました。実際に殺処分のための施設を目にした時は、胸が締め付けられる思いでした。この視察研修には、県内遠方から電車とバスを乗り継いで単身高校生も参加してくれました。殺処分のない、そして人と動物が幸せに共生できる社会づくりのため、年齢や住んでいる地域を越えて連携していきたい、そんな思いを強くした一日でした。



## 2/9 大原小学校キャリア教育・出前事業

甲賀市立大原小学校にて、こがが人福祉動物福祉協議会議のメンバーで小学生、高学年のキャリア教育として、2時間授業を行いました。人の福祉や動物の福祉を随所に絡めて、それぞれの立場の仕事方のお話を、仕事観や生き方の話で締めくくりました。質疑応答も沢山の質問をいただき、子どもたちに興味を持ってもらったことを、本日から地域の担う若い世代への啓発が大切だと改めて実感した授業でした。

未来の甲賀市を担う次世代に啓発